



校長だより 第 39 号

すてきな島



H27.12.14 日間賀中学校長 井本 仁

「あいさつは先に」
「返事は大きく」
「気づき、考え、行動する」

明日12月15日(火)は合唱コンクールです

とても行事の多かった 2 学期ですが、あと明日の合唱コンクールを残すのみとなりました。これまで、各学年で、この日に向けて一生懸命にがんばってきました。保護者の方には、ぜひお越しいただき、お子さんの成長した姿をご覧いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、下の写真は、1 週間前に行った中間発表会の様子です。



12月8日(火)持久走大会

すばらしい天候の中、持久走大会が行われました。体育の授業はもちろん、授業後も練習を重ねてきた生徒が多いわけですが、皆、本当によくがんばり、その成果をしっかりと発揮することができました。そして応援もよかったですね。優勝した壮併くん、七海さん、おめでとう！また、この大会では、区長さんや PTA 役員の方など、たくさんの方にご協力をいただきました。ありがとうございました。



朝会（12月7日）から

生徒発表（12月のテーマ：人権について）

杉浦 文香さん（2年）

- みなさんは、今年制定された「渋谷区同性パートナーシップ条例」を知っていますか。これは、同性のカップルでも異性の夫婦とほとんど同等な扱いを受けることのできるという条例です。
- このことについては、日本国内でみると新しいことですが、日本は世界的に見ると遅れていることなのです。実際に、他国では、結婚を認める国もあります。
- これは、日本人の昔からの性に対する意識が原因だと思います。女性は子育てをするべき、男性が家庭を支えるべき、などの意識が他国との差になっていると考えます。
- これから、自分の性について悩む人が減っていく社会にしていきたいです。

坂口 竜都さん（3年）

- 「人権」というと、「いじめ」という言葉が思い浮かびます。日間賀では、いじめが起こることはそんなにありませんが、他ではあります。
- 以前ニュースで、中1の人がいじめのことをノートに書いて自殺するということがありました。このようなニュースを見るたびに、人間関係というのは、そんなに難しいものなのかな、と思います。
- 自分ができることは、言葉をかけて励ますことくらいしかありません。でもその言葉で、命が救えるかもしれません。
- いじめを無くすことは難しいかもしれませんが、言葉がけなどによって、いじめや自殺が減っていくといいなあと思います。

校長の話

12月に入り、「人権週間」となりました。今月の朝会での生徒発表のテーマは、「人権」についてです。昨年も同じ時期に、生徒の皆さんが、「人権」について発表をしてくれたのですが、とてもよい発表だったことを思い出しました。そこで、今回と次回の朝会は、生徒の皆さんの発表を聞いた後、それを受けて、私の話をすることにしました。

先ほどの2人の発表は、とても素晴らしいものでした。それぞれの発表内容についての私の考えをお話します。

- ① パートナーシップ条例についてですが、このところ、ニュースや新聞などで、この内容に関連することが多く取り上げられています。性に対する固まった意識というのがある人がまだまだ多いのですが、人には、それぞれ個性がありますので、その個性をお互いに認め合えることが大切だと思います。差別のない世の中にしていきたいものです。
- ② いじめを防ぐために、「自分ができることは、言葉をかけて励ますことくらい」という話がありました。それがとても大事なことなのです。ちょっとした声かけで、救われることは多いものです。みんなが、自分のできることを少しずつでいいので行動できると、いじめも無くなっていくのではないかなと思います。